

令和 7 年度第 1 回 稲沢市地域公共交通会議運賃料金部会 会議録

【日 時】令和 7 年 1 2 月 2 4 日（水）

午前 1 1 時 3 5 分から午前 1 1 時 5 5 分まで

【場 所】稲沢市役所 2 階 政策審議室

【出席委員数】4 名

【議事次第】

1 あいさつ【部会長】

2 議事

協議事項（1）下津・大里線の路線変更に係る運賃設定（案）について

【議事内容】

2 議事

協議事項（1）下津・大里線の路線変更に係る運賃設定（案）について

- 資料番号 1 に基づき説明を行い、質疑応答の後、事務局案のとおり認められた。

【主な意見】

- ・ 昨今、人件費や燃料費の高騰、さらにバスの車両更新もそろそろ必要であるなど、運行経費が増える要因がいくつもある。そういう観点から、この「200 円」という運賃が今後どこまで続けられるのかなと考えている。

一方で、利用者の視点からみれば、物価高により日常生活に負担が増えているため、運賃の値上げは難しい話なのかなとも思う。

結果、現状では今回の「200 円」という案はとりあえず妥当だと考える。

【委員】

→ 市としても、財源の確保は課題に感じており、来年度にはバスの車体における有料広告を募集するなど、できることから始めていきたいと考えている。

【総務課】

- ・ これからは 75 歳以上の高齢者の増加に伴い、利用者も増えていく傾向にあると思う。コミュニティバスは昔から 200 円であり、高齢者は「バス

は安くて当然」という考えを持っているため、運賃の値上げは難しい。

まずは利用者数を増やす努力をして、市の負担を少しでも減らすことが大切である。

例えば、コミュニティバスの見た目をもっと目立つようにして、認知度を上げるのも良いと思うが、バス1台の塗装やラミネートにはどのくらい費用が掛かるのか。

【委員】

→ 1台のラッピングに40万円程度かかるため、それに見合う効果があれば良いが。

【名鉄西部交通株式会社】

→ 例えば、今後の車両更新のタイミングで、目立つラッピングを検討できるのではないかと考えている。

【総務課】

以上で閉会した。